

サポートルームだより

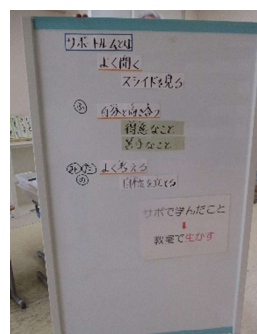
2026年6月3日 No. 3
町田市立成瀬小学校
サポートルーム拠点校
校長 吉成 美紀
サポートルーム担当

サポートルームの指導が始まって2ヶ月が経ちました。大きな行事が終わり、子供たちは頑張りすぎて疲れが出始めているかもしれません。学校での頑張りをお家でねぎらい、家では心と身体を休ませてあげてください。

～小集団指導 「サポートルームとは」から～

学校生活の中で、周りの人とどのように関わるとお互い気持ちよく過ごせるか、様々な活動を通して実践的にソーシャルスキルを学んでいます。新年度が始まり、子供たちからは「〇〇が楽しかった！」という声が聞かれますが、単に「楽しく活動する場所」として終わらせないのが、このサポートルームです。

そこで先日の活動では、改めて「なぜサポートルームに通っているのかな？」というテーマで話し合いました。子供たちに問いかけてみると「自分の苦手なことを減らすため」「気持ちのコントロールをするため」など、それぞれが通う意味を受け止めている様子が伝わってきました。その後スライドを交えながら、ここで学ぶスキルがこれからの学校生活、そして将来の大きな力になることを伝えました。活動の後半にはチェックリストを使い、自分の「得意」と「苦手」をじっくり見つめ直しました。担当の教員と「まずはここから頑張ろう」と話し合い、それぞれが納得のいく1学期の目標を立てることができました。



振り返りでは「自分の得意なこと、苦手なことが分かった。」と発表するとともに、個別学習では一人一人の課題に、より一層熱心に向き合い取り組む子が増えました。目標を達成できるよう学校と家庭で力を合わせて応援していきたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。



6月の小集団指導

※予定は変更になることがあります。

活動名	活動内容
問題解決すごろく (全学年)	・チームになって、教師から示された問題をクリアしながらすごろく形式で進みます。サイコロを振った人がヘルプを出すまで、それ以外の人はヒントを教えることができないようになっています。仲間に頼る大切さを学ぶことがねらいです。
気持ちチップ (全学年)	・お題を聞いて、自分ならどのような気持ちになるかを、いろいろな表情のチップを使って発表し合う活動です。どうしてその表情を選んだのか理由を伝え合うことで、様々な考え方に触れさせていきます。
あるあるランキング (高学年)	・児童が経験したことのある内容や身近に感じることをテーマにランキングを考えていく活動です。先攻後攻を決め、順番に答えていきます。ランキングを当てるのではなく、話し合いの仕方や感じよく振る舞うことを重点にしました。
らせんカード (高学年・図工)	・螺旋状に描かれた紙を正しく切り抜き、カードを開いたときに立体的に広がる仕掛けを作ります。はさみを固定して紙を回しながら切るなど、高度な手先のコントロールを習得させていきます。
イエス・ノークイズ (中・高学年)	・出題者が持っている「お題カード」が何かを、周囲の参加者が YES/NO の質問を繰り返しながら当てるコミュニケーション能力を養う活動です。
たりないものはなに (中学年)	・リスト通りに物品を用意する活動です。チェックしたものとまだのものを分けるなど確認の仕方や、整理整頓の方法を具体的に学びます。
とび出すカード (中学年・図工)	・台紙に切り込みを入れて折る仕組みを学び、カードを開くと立体的なケーキが飛び出す仕掛けカードを作ります。説明や手順をしっかり聞き、その通りに正しく作業する力を養います。
ぶんぶんごま (2年・図工)	・はさみを使って、紙を円く切り、糊で貼り合わせぶんぶんごまを作る活動です。周囲と同じペースで作るための方法や、話を聞く時の注目の切り替え方など、学習に必要な基本的な態度を学びます。
かみでっぼう (1年・図工)	・大きな長方形の紙を折って、紙でっぼうを作ります。指示通りに作業したり、援助要請をしたり、アドバイスを受け入れたり…。学習に必要な基本的な態度や、方法を学ぶ活動です。
そうじをしよう (1年・2年)	・任せられた場所の掃除を最後までやりきることができる、指示されたことを確実に行うことができるようになる活動です。